

事業所名

こどもデイサービスさくら 深江橋

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

7日

法人（事業所）理念		家族のヨロコビのヨリドコロ					
支援方針		子どもたちとその家族に必要な支援を提供すること 健康と幸福を支援することが使命 特別なケアが必要な子どもたちが安心して住み慣れた場所で暮らせる社会資源として積極的に貢献する 専門職としての経験と専門的な知識を活かす					
営業時間		10時	0分	16時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や日々の体調管理。必要な医療的ケアの提供を実施 来所時の体温測定、視診による健康状態の把握 看護師による必要な医療的ケアの実施（気管や口鼻腔内の吸引、投薬、栄養注入など） それぞれの障がい特性に応じた視覚、聴覚などから支援や環境を設定し、分かりやすく構造化する					
	運動・感覚	理学療法士、言語聴覚士、作業療法士の評価に基づく機能評価、姿勢や運動・動作・感覚の支援 個々の機能評価、支援方針の決定、活動しやすい姿勢や環境設定の構造化 姿勢保持、関節可動域の維持・向上、変形予防を図る 保有する身体機能を最大限に発揮し感覚の特性を踏まえ、感覚を活用できるよう遊びを通して支援する					
	認知・行動	遊びを通して認知や行動の発達を促し、外部環境への興味を引き出す 個々の得意な感覚を活用し、必要な周囲からの情報を認知していけるように支援を行う 製作活動や感覚遊びを通して、物の属性や大きさ、形などの認知の向上を図る お散歩や屋外活動、季節の活動などを通して空間や季節、時間等の概念の形成を図る					
	言語 コミュニケーション	個々の特性に応じたコミュニケーション手段の確立を図り、自己決定や自己表現の幅を広げる 他事業所や学校、保育園などと情報共有し、統一された身振り、手振り、サインなどを実施 伝わる成功体験を積み重ねることで、伝えたい気持ちや伝わる喜びを感じることで、他者とのコミュニケーションの意欲に繋げる					
	人間関係 社会性	他者との関わりを楽しみ、同年代や異年代との関わり楽しみを知る 安心して他者と関わりが持てるよう愛着と信頼関係の構築を図り、環境設定を行いながら安心して楽しめるよう支援する こども同士での遊びを通して他者の存在を知り、人間関係の形成を支援する					
家族支援		安心して通所し、療育相談を行う 兄弟の行事や保護者の就業状況に合わせて利用日や利用時間の変更など可能な範囲で対応する			移行支援		就学に向けた情報共有
地域支援・地域連携		相談支援事業所や利用児が利用する他事業所、関係機関、学校等日常的に情報共有を行い、密な連携を図る お散歩などの屋外活動やお出かけ（買い物など）を通して、事業所近隣の環境を知り交流を図れるよう支援する			職員の質の向上		研修会の実施（適宜）
主な行事等		春：花見、お散歩 秋：運動会 夏：プール、夏祭り 冬：クリスマス会					